

グッピー保育園 令和2年度(2020年度) 保育の内容に関する全体的な計画

令和2年13現在

<p>事業の目的</p>	<p>乳幼児期の健全育成を図るために教育・保育を行い、保育所保育指針に掲げる目標が達成されるよう教育・保育を行うことを目的とする。</p>				<p>保育理念(事業運営方針)</p>	<p>熱帯魚グッピーのように子ども達が変動する社会、環境に適応して生きていけるたくましい力を育む</p>	
<p>保育方針</p>	<p>乳幼児の最善の利益を考慮し、倫理観に裏付けられた専門的知識及び技術を備えた上で、保育に携わり、家庭及び地域と連携・協働しながら健全育成を図る。</p>				<p>園の保育目標</p>	<p>・心身共に健康な子ども ・友達を大切に、協力でできる子ども ・意思表示できる子ども ・自然や命の尊さを知り、大切に子ども</p>	
<p>子どもの保育目標 (保育目標・保育の内容とも年間指導計画の基礎事項・年間指導計画・行事のねらいは別紙)</p>	<p>乳児</p>	<p>・保健的で安全な環境のなかで、心身共に健康で過ごせるようになる。 ・甘えや要求と充分に受け止め、保育者との信頼関係を築きながら情緒の安定を図る。 ・個人差に配慮し、離乳の完成や歩行、言葉の発達を助ける。 ・聞き、見る、触れるなどの経験を通して、身の周りに対する興味や好奇心の芽生えを育む</p>	<p>3歳児</p>	<p>・基本的な生活習慣を身につけ、自信をもって主体的に園生活やあそびに取り組む。 ・保育者や友達と親しみ、一緒に遊ぶことを楽しみながら人と人の関わりを深める。 ・遊びを通して生活経験を広げ、想像の芽生えを育てる。 ・戸外での遊びを十分に、体を動かす楽しさを味わう。</p>	<p>保育時間など</p>	<p>2・3号認定／基本保育時間 標準認定7:00～18:00 短時間認定9:00～17:00 延長保育時間 標準認定18:00～18:30 短時間認定7:00～9:00 17:00～18:00 休園:祝祭日、年末年始、慰霊の日(6月23日)</p>	
	<p>1歳児</p>	<p>・保健的で安全な環境のなかで、1人1人の子どもの欲求を十分に受け止め、生命の保持と情緒の安定を図る。 ・保育士との応答的な関わりの中で、自分の気持ちや欲求を安心してあらわせるようになる。 ・安全な環境の中で、全身を使ったあそびや探索活動を十分に、歩行の完成を図る。 ・保育士のはなしかけにより、言葉の理解や発音への意欲を育てながら、友達への関心を育てる。 ・食事、排せつ、着脱等の経験を通じて、自分でしようとする気持ち育てる。</p>	<p>4歳児</p>	<p>・自分でできることがわかり見通しをもって生活しようとする。 ・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、友達や保育者との関わりを深める。 ・友達との関わり合いの中で、自分の思いや意見を言い、相手の思いをわかろうとする。 ・身近な自然や動植物に関心を持って接し、親しみ。 ・イメージを広げ、感じたことを表現する。</p>	<p>主な行事(日常の節目としての行事設定)</p>	<p>入園式／始業式／誕生会／健康診断／保育参加日／運動会／七夕／ハロウィン／クリスマス懇談会／子育て講演会／発表会／クリスマス会／ムーチャー／豆まき会／個人面談／ひなまつり／卒園式／おわかれ遠足</p>	
	<p>2歳児</p>	<p>・1人1人の子どもの欲求を満たし、情緒の安定を図る。 ・保育者や友達と親しみ一緒に遊ぶことを楽しみながら人と人の関わりを深めていく。 ・遊びを通して生活経験を広げ創造の芽生えを育てる</p>					
<p>園保育所保育に関する基本原則/役割目標</p>	<p>園保育の方法/環境</p>	<p>園保育所の社会的責任</p>	<p>園養護に関する基本事項</p>	<p>園保育の計画と評価</p>	<p>園幼児教育を行う施設として共有すべき事項</p>	<p>◎小学校との連携(接続)</p>	
<p>児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る。保育に関する専門性を有する職員が、養護及び教育を一体的に行う。保護者支援及び地域の子育て支援等を行う。</p>	<p>健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、一人一人の発達過程に応じ、乳幼児の発達にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育する。保護者を理解し適切に援助する。</p>	<p>人権に配慮する。子どもの人格を尊重し保育を行う。地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する。個人情報を適切に取り扱う。保護者の苦情解決を図るよう努める。</p>	<p>養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。</p>	<p>保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が種別的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、保健計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い、公表し、保育内容の改善を図る。</p>	<p>生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。幼児期の終わりまで貫いて育つ「基礎」は、ねらい及び内容に基づき保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校教諭等の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮する。</p>	<p>保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。</p>	
<p>園保育の目標</p>	<p>ア 子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。 イ 生命の保持及び情緒の安定を図る (イ) 心身の健康の基礎を培う (ウ) 愛情と信頼感、人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立及び協同の態度を養い、道徳性の芽生えを培う (エ) 生命、自然及び社会への興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う (オ) 言葉への興味や協同の心を育て、言葉のかささる (カ) 豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う</p>						
<p>園養護 (保育士が行う事項)</p>	<p>年齢 ●生理的欲求の充実を図る ●応答的な触れ合い ●情緒的な絆の形成</p>	<p>1歳児(満1歳より) ●生活リズムの形成を促す</p>	<p>2歳児 ●適度な運動と休息の充足</p>	<p>3歳児 ●健康な生活習慣の形成</p>	<p>4歳児 ●運動と休息のバランスと調和を図る</p>	<p>◎小学校以上の連携に備えて 育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。また、この資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる。</p>	
<p>◎ねらい及び内容並びに配慮事項(養護と教育は一体となって展開されることに留意)</p>							
<p>◎教育 (園児が環境に関わって経験する事項) ※乳児は3つの視点、幼児は5つの領域で区分されている。(基本的事項を十分に参照) ※指針では乳児と幼児とに区分されているので、第1編を踏まえ場合は1歳児の5領域を参照。 ※子どもの発達や成長の援助をねらいとした活動の時間については、意図的に保育の計画等に位置付けて、実施する。なお、活動の時間については、保護者の就労状況等にに応じて子どもが保育所で過ごす時間がそれぞれ異なることに留意して設定する。</p>	<p>(乳児) 3つの視点 健康 ●身体機能の発達 ●食事リズム等の生活リズム感覚の芽生え 人間関係 ●特定の大人との深い関わりによる信頼感の醸成 ●情緒の育みと応答による言葉の芽生え 環境 ●身近なものとの関わりが育つ ●身体の感覚覚醒による表現 言葉 ●言葉の獲得 ●話しはじめる 表現 ●いろいろな素材を楽しむ</p>	<p>(満1-3歳未満児) 5領域 健康 ●歩行の確立による行動範囲の拡大 人間関係 ●周囲の人への興味、関心の広がり 環境 ●好奇心を高める 言葉 ●言葉の獲得 ●話しはじめる 表現 ●象徴物象の発達とイメージの膨らみ</p>	<p>1歳児(満1歳より) 健康 ●歩行の確立による行動範囲の拡大 人間関係 ●自己主張の表出 ●友達との関わりが増大 環境 ●自然事象への積極的な関わり 言葉 ●言葉の獲得 ●話しはじめる 表現 ●象徴物象の発達とイメージの膨らみ</p>	<p>(3-5歳児) 5領域 健康 ●意欲的な活動 ●基本的な生活習慣の確立 人間関係 ●道徳性の芽生えと並行遊びの充実 環境 ●身近な環境への積極的な関わり 言葉 ●言葉の興しと、楽しさへの気付き ●生活の中で必要な言葉の理解と使用 表現 ●自由な表現と豊かな感性の育み ●豊かな感性による表現</p>	<p>3歳児 健康 ●意欲的な活動 ●基本的な生活習慣の確立 人間関係 ●道徳性の芽生えと並行遊びの充実 環境 ●身近な環境への積極的な関わり 言葉 ●言葉の興しと、楽しさへの気付き ●生活の中で必要な言葉の理解と使用 表現 ●自由な表現と豊かな感性の育み ●豊かな感性による表現</p>	<p>4歳児 健康 ●意欲的な活動 ●基本的な生活習慣の確立 人間関係 ●道徳性の芽生えと並行遊びの充実 環境 ●身近な環境への積極的な関わり 言葉 ●言葉の興しと、楽しさへの気付き ●生活の中で必要な言葉の理解と使用 表現 ●自由な表現と豊かな感性の育み ●豊かな感性による表現</p>	<p>園幼児期の終わりまで貫いて育つ10項目 園教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱 ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協働性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活の関わり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現</p>
<p>★健康支援/状態把握・増進・疾病対応</p>	<p>★食育の推進(食育計画別紙) 給食及び園活動などとおとの食育を実施し、栄養・調理管理をする ・家庭士に依頼し、1月1回栄養士、園長、調理員で献立を協議し作成する。 ・話し会を栄養士と園長で年3回実施する。 ・調理員の研修を年5回栄養士に実施してもらい、園児の食生活を豊かにする。 ・毎月1回調理体験をする。 ・菜園づくり及びクッキングなどを子どもも通ずる。</p>	<p>★環境及び衛生管理並びに安全管理(常務管理計画別紙) 施設内外の整備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ●感染症及び職員等の清潔保持 ●感傷予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ●防災訓練の実施 ●被災時における対応と備蓄 ●ひやりはたと報告を記録し、分析した上でインシデント、事故防止につなげる ●警備指導安全教室</p>	<p>★災害への備え(避難計画等別紙) ●避難訓練(火災、地震、津波)の実施(毎月) ●消防署視察 ●消火訓練の実施 ●被災時における対応と備蓄 ※年2回外部業者による消防設備点検</p>	<p>◆子育て支援(子育て支援計画別紙) 子どもを中心に保育者と保護者が協力して子どもの発達過程を見守られるように働きかける。 (1) 保育への理解と協力の促進 ・父母の会、クラス懇談会、個人面談、家庭訪問、保育参加、園の行事等とおして理解を深める。 (2) 保護者と共に学習会、講演会など企画実施し、子どもへの理解を深める。 (3) 子育て支援のための特別保育事業に対する理解と協力 ・地域のニーズに合わせて、相談、子育て支援を実施する</p>	<p>△職員の高質向上(研修計画別紙) 質の高い保育を展開するため、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職場研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。</p>		
<p>情報公開等</p>	<p>●虐待確認保護 ●個人情報保護 ●苦情処理解決対応及び第三者委員 ●栄養士の専門者の配置 ●適正な園運営のための会計事務所による外部監査 ●ホームページの開設 ●給食試食会</p>				<p>特色ある教育と保育</p>	<p>児童の心身を豊かに育てるために外部講師などによるプログラムを実施する。沖縄伝統文化継承プログラム・異文化体験プログラム ・英語であそぼう・空手道・日本文化体験プログラム(お花・お茶)・アートセラピー・紙芝居・読みかせ・体操</p>	
<p>地域の課題に対応した保育事業と行事への参加</p>	<p>・障小学校、障こども園、近隣の保育施設との連携 ・障手づくり協議会との連携 ・沖縄伝統空手を地域の方々にも広げる ・地域の青少年協会の行事に参加 ・世代間交流の促進 ・保育実習生、就労体験生を受け入れ、次世代育成を図る</p>				<p>研修計画</p>	<p>●保育指針対応の園外・園内研修の継続 ●園外研修への計画的な参加(県外研修、乳児保育研修、地域子育て支援研修等含む) ●進捗改善に伴うキャリアアップ研修</p>	
<p>自己評価等</p>	<p>●保護者による保育園の評価 ●保育士等の評価 ●自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得 保育所保育指針の各章とワークの対応 第1章＝■ 第2章＝◎ 第3章＝★ 第4章＝◆ 第5章＝△</p>						